

CCU ネットワーク支援センター

■ スタッフ

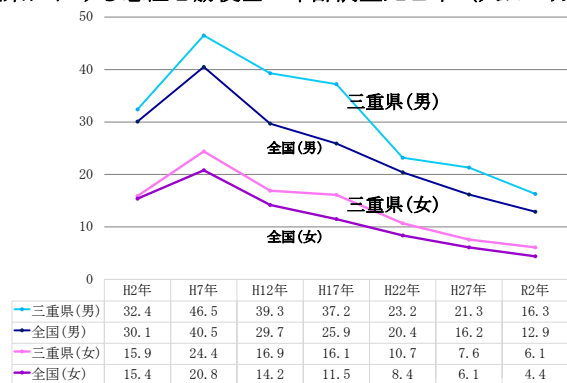
センター長 助教		土肥 薫 高崎 亮宏
医師	常勤 兼任 非常勤	1名 1名 0名

■ 部門の特色

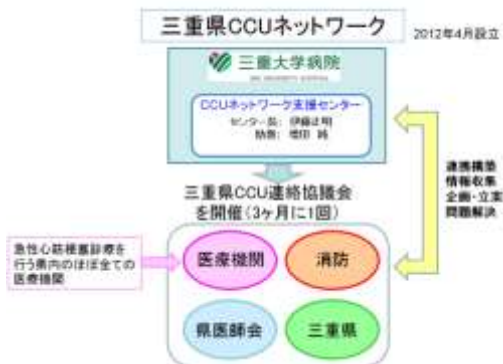
三重県における急性心筋梗塞の死亡率は、下図の様に過去 25 年にわたり、男女ともに依然として全国平均より高い状態にあり、早急な改善が急務です。当 CCU ネットワーク支援センターでは、県内の各循環器救急病院・消防・行政などと協力体制をとりながら急性心筋梗塞の予後改善に向けての取り組みを行っております。

1. 三重県における急性心筋梗塞死亡率

三重県における急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（人口10万対）



2. 組織体制



約半年に 1 回、県内医療各機関や消防・県医師会・

行政とともに三重県 CCU 連絡協議会を開催し、県内の急性心筋梗塞の診療体制についての情報共有、現状把握・問題提議を行っています。

■ 事業内容

1. 三重 ACS レジストリー

三重県内で発症した心筋梗塞症例の初期診療体制や治療内容・予後などについての情報を県全域で前向きに収集し、傾向や問題点を分析するのに役立ちます。2013 年 1 月より運用を開始し、現在県内 17 施設に参加していただき登録を行っております。2022 年は過去最多 910 例の急性冠症候群 (ACS) 症例が登録され、様々な分析・学会活動に用いられました。また、当レジストリーデータをを用いた報告結果 3 報も論文に掲載されました (A Takasaki, et al. Heart and Vessels. 2022; 37: 208-218., H Mizutani, et al. Circulation Journal 2022; 86: 10: 1539-1546., A Takasaki, et al. Circulation Reports 2022; 18: 4: 412-421)。

2. 12 誘導心電図伝送体制の構築・運用

急性心筋梗塞は、発症から再還流療法を受けるまでの時間 (total ischemic time) を最大限短縮させる事が予後の改善に重要で、そのためには①直接カテテル施設に搬送すること、②病院到着後速やかに再還流療法を行うことが重要です。それには救急車内から 12 誘導心電図を直接医療機関に伝送することが重要であり、津市では救命救急センターと近隣病院の協力を受けながら、病院前心電図伝送システムの運用を行っています。

3. 心筋梗塞後リハビリ体制の構築・運用

心筋梗塞から退院した後も、外来でリハビリ療法を継続することが、その後の心肺機能や予後の改善に有用とされています。三重大学病院をモデル病院として外来通院リハビリシステムの構築・運用を行っており、その効果についても検証しています。

4. 市民公開講座の開催

疾患の理解や、発症後できるだけ速やかな救急要請もしくは医療機関への受診の重要性を啓蒙するために定期的な市民公開講座を開催しています。2022 年は、NPO 法人みえ循環器・腎疾患ネットワークと名張市の共催で、初の試みとして 3 疾患 (高血圧、心不全、脳卒中) のパンフレットを作成しました。

5. 心不全管理アプリプロジェクトの推進

2020 年夏頃から国内の IT ベンチャー企業と協力を構築し、慢性心不全患者の管理と病診連携への取り組みとしてスマートフォン搭載型の専用アプ

リ「ハートサイン」を開発しました。このアプリでは、心不全患者の日々のバイタルデータや症状の入力を介して、心不全増悪の危険性を予測し、早期受診を促す仕組みを搭載しています。2021年春から当院を含め、県内6病院での共同研究が実施されています。今後、対象患者や実証フィールドの拡充を行っていく予定です。

■ 臨床研究などの実績

Prognosis of acute myocardial infarction in patients on hemodialysis stratified by Killip classification in the modern interventional era (focus on the prognosis of Killip class 1). Akihiro Takasaki, Tairo Kurita, Yosuke Hirabayashi, Hiroshi Matsuo, Akiko Tanoue, Jun Masuda, Takashi Yamanaka, Kan Katayama, Hirofumi Machida, Takehiko Ichikawa, Masaaki Ito, Kaoru Dohi. *Heart and Vessels*. 2022; 37: 208-218.

Prognostic Impact of Peak Aortic Jet Velocity on Patients With Acute Myocardial Infarction. Hana Mizutani, Naoki Fujimoto, Hiromasa Ito, Toru Sato, Keishi Moriwaki, Akihiro Takasaki, Yoshito Ogihara, Shogo Kasuya, Tatsuya Mori, Muneyoshi Tanimura, Itaru Goto, Kazuhide Ichikawa, Jun Masuda, Toshiki Sawai, Tairo Kurita, Takashi Tanigawa, Kaoru Dohi. *Circulation Journal* 2022; 86: 10: 1539-1546.

Demographic Trends and Changes in the Pre- and In-Hospital Medical Management of Acute Myocardial Infarction During the First 12 Months of the COVID-19 Pandemic in Mie Prefecture - Report From the Mie ACS Registry. Akihiro Takasaki, Tairo Kurita, Masashi Yanagisawa, Ayaka Ino, Daisuke Hiramatsu, Akiyoshi Ikami, Hiromasa Ito, Takashi Kato, Shusuke Fukuoka, Tadafumi Sugimoto, Tomoyuki Nakata, Jun Masuda, Masaki Tanabe, Hitoshi Kakimoto, Kaoru Dohi. *Circulation Reports* 2022; 18; 4: 412-421

http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/bumon/ccu_network/